

## 宝石

<sup>ジュア</sup>純粋なものを書けば、そしてうたえば  
純粋であればあるほど、それは  
僕からはるかに遠のき、歩み去ってゆく

このやるせない裏切りをどうしよう  
どうしようもない、引き留められない  
我が魂の宿命、取り残される

人が純粋ではないということは  
これは哀しむべきか、嘆くべきか  
それとも、豊饒をして喜ぶべきか

ああ、人の宝とは何か、僕はゴミ溜まで嗅ぎ回る  
それは<sup>あまた</sup>数多あるか、寡少なものが  
僕は探す、探る、ひとつひとつ・・・

(1982.4.18)